

## 和光市環境づくり市民会議 第125回定例会議事要録

日 時 平成28年6月21日(火) 15:00~16:00

場 所 市役所3階第2委員会室

出席者 10名 峯岸正雄 高橋勝緒 高橋絹世 東亮太 芝勝治 渡辺康三  
新井昭夫 松田廣行 友國 洋 小林新

傍聴者 なし

事務局 和光市環境課 大野課長、工藤宏課長補佐、工藤亜希主査、金岡

概 要

議 題

### (1) 第2次和光市環境基本計画実行計画中間見直しについて

第2次和光市環境基本計画実行計画改訂版(素案)に基づき説明

- ・前回の会議でいただいた意見をもとに再度精査し、各所管課に確認し修正している。スケジュール部分は、より具体的な文言に変更している。

#### ○ 前回会議を受けて事務局より報告

- ・4番：越戸川の魚道整備について、副市長と現場を確認した。副市長からは、越戸川の再生事業については都市河川再生の一つのモデルとなり、これからも県に対して必要な対応を要請していくべきであるとのお話をいただいた。
- ・5番：保存樹木については、現在638本の指定があり、各種計画では平成32年までに740本に増やすことを目指している。しかし、いろいろな意見を踏まえ、ゼロベースで和光市の保存樹木に対する考え方を再構築したいと考えている。
- ・38番：一般廃棄物焼却施設の整備について、環境省の循環型社会形成推進交付金を念頭において施設整備を検討している。交付金の補助割合は最大3分の1だが、多額な市費負担を要することには変わりはない。循環型社会形成推進地域計画の策定を義務付けられていることもあり、具体的にスケジュールを立てることができなかつたと所管課より報告を受けた。今後は意見を真摯に受け止め、長期的な課題を一定程度の計画性を持って進めたいとの話があった。
- ・50番：身近な水環境の全国一斉調査の件はいろいろな方から情報提供をいただいた。和光自然環境を守る会は、12年前の事業開始時から皆勤と聞いている。近隣の練馬区、板橋区と水質調査について意見交換をする機会を持てたので、必要な行政の支援や横並びの調査の必要性について情報交換をしながら進めたい。
- ・51番：市民の節水意識の向上について、今年は雪不足の影響などから貯水量が非常に少ない状態となっている。先週から利根川水系渇水により10%の取水制限をしており、今後20%も見据えていることから、節水意識の啓発活動を身をもって進めていくと所管課より話があった。
- ・取り組みが終了し、継続して実施をする必要がないものについては、レビュー終了としたらどうかとのご意見をいただいた。事務局としても同様に考えているが、単発で

終わる施策は少ない。継続することによって目的が達成されたり近づいたりするものも多く、その点は理解していただきたい。

○ 実行計画素案に対する意見

- ・ 26年度の湧水環境調査の中で井戸調査を実施した。100か所以上の井戸の中で実際に使っているものが予想以上にたくさんあることが分かった。今後、災害時にも使えるように進めていこうという方針があったが、実行計画の中では、井戸や地下水の利用はどこに入るのか。→井戸の災害時の活用については以前から議会でも提案をいただき、議会案件となっている。危機管理室が所管しているが、他にも優先的に取り組まなければいけない対策があり、なかなか進んでいない。課題は多く、また、実行計画の進捗の中ではフォローできないかもしれないが、環境課としても注視していきたい。→市内の連携が大事だと思う。防災関連の施策は重要課題であるが、環境基本計画実行計画には含まれない施策と考えられる。
- ・ 強清水の見通しについて教えてほしい。→原因と思われた宅地の造成も進んでおり、敷地内から出た湧き水は側溝に流す等処理を進めている。周辺住民等から情報収集をしたが、工事の施工が直接的な原因だという客観的事実は得られなかった。建設地内の排水は処理されているので、今後湧水量も戻るのではないかと期待しつつ注視している。→この湧水に対し市が関与する余地はあるのか？「湧水」は所有権などの権利関係が明確ではなく、行政が関与できる点が明確ではない。出口については公的に整備しているようだが、そのもとの部分は難しいというところか。→一時泥水が出てきたことがあったが、今はだいぶ透明に戻ってきている。今後も清掃活動を行ったり、継続的に注視していきたい。
- ・ 環境省の湧水保全ポータルサイトに代表的な湧水という項目があり、和光市の湧水も掲載されていたのだが、和光市は概要欄が空白だった。市として湧水に力を入れているのに残念だ。一般に公開されているものなので、コメントを入れられるようなら入れてほしい。→確認してコメントを入れたい。
- ・ 災害時の水等の備蓄やトイレ等の設備についてあまり公開されていないようだ。防災倉庫の中にどの程度のものが入っているのか分からないと、災害時にどの程度まかなえるのか分からないので広報してほしい。→市民の関心事だということは重々承知している。
- ・ 水道道路沿いの資材置き場が増えている件で、業者がバイパス新設工事のために資材置き場を確保をしているらしい。昔の新倉田んぼと言われていたところがほとんど資材置き場になっている。どのくらいの計画でどんな道ができるか分からないので教えてほしい。254号線の延伸予定や大江戸線の延伸計画もあるらしい。→環境課のレベルで情報が入れれば公開していきたい。

- 第2次和光市環境基本計画実行計画改訂版策定について
  - ・今後決裁等を経て策定する。

## (2) その他

- 和光市まちづくり寄附条例改正検討委員会第1回会議についての報告（会長より）
  - ・改正検討委員会の目的は、和光市まちづくり寄附条例と和光市寄附金規則を一本化すること。用途指定寄附の在り方について検討することなどが挙げられる。また、ふるさと納税制度における和光市の課題について検討している。
  
- 次回会議  
平成28年7月19日（火）午後3時から402会議室にて開催。  
現在、NPO法人和光・緑と湧き水の会と協働で進めている環境マップについて取り上げる。